

## 技術ノート KGTN 2013112001

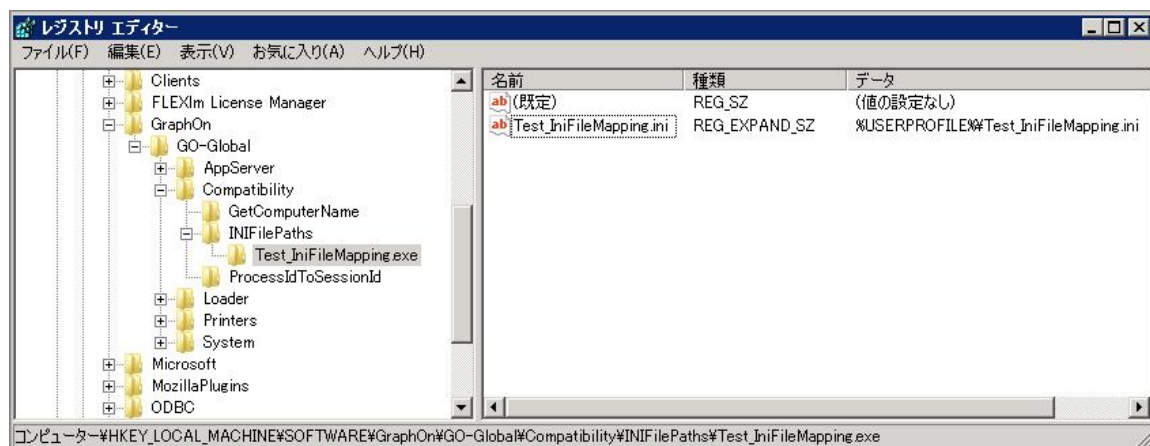
### 現象

[GGH4.X] INI ファイルのリダイレクト機能（マッピング機能）を利用したいが、技術ノート KGTN#2010041901 と同じ設定を行えば良いのか？

### 説明

GGH4.5 またはそれ以降で INI ファイルのリダイレクト機能（マッピング機能）は実装されていますが、レジストリに設定する内容が若干変更されています。以下の例では、`Test_IniFileMapping.ini` という設定ファイルへの参照が、各ユーザのプロファイルの下の `Test_IniFileMapping.ini` へ自動的に切り替わります。

- 1) 各ユーザのプロファイルの下に `Test_IniFileMapping.ini` という設定ファイルを作成する。
- 2) レジストリエディタを起動する。
- 3) `HKLM\SOFTWARE\GraphOn\GO-Global\Compatibility\INIFilePaths` へ位置づける。
- 4) 「新規 → キー」を選択する。
- 5) 新しいキーの名前を `Test_IniFileMapping.exe`（プログラムのファイル名）にする。
- 6) そのキーの下で「新規 → 展開可能な文字列値」を選択する。
- 7) 名前を `Test_IniFileMapping.ini` にする。
- 8) 値を `%USERPROFILE%\Test_IniFileMapping.ini` にする
- 9) レジストリエディタを閉じる



### 注意

「INI ファイルマップ機能」は、アプリケーションが INI ファイル用の関数 `GetPrivateProfileString` 等を使用している場合にのみ有効です。アプリケーションが「これらの関数を使わず」自前で INI ファイルにアクセスしている場合は、「INI ファイルマップ機能」は適用されません。